

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年10月21日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(5日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	二戸市	代表者名	藤原淳
担当者部署	総合政策部	連絡先電話番号	0195-23-3111
担当者役職	副主幹	担当者氏名	長谷川勝
		連絡先E-mail	
住所	028-6192 岩手県二戸市福岡字川又47番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体DX推進手順書のステップ0にある、DXの認識共有・機運醸成を目的に、システム標準化の業務担当職員を対象に講義を行っていただいたが、DXの基礎的な共通理解の形成を目指したセミナーとして非常に分かりやすく、動機づけとして良い研修となった。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年10月14日	10時30分	12時00分		90
	派遣形態	講演(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	いわて北自治体クラウド協議会所属9自治体職員	100人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	システム標準化及び手続オンライン化について、今後9自治体それぞれ新年度予算を計上することとしており、引き続き国の動向を注視し、ベンダーとも意見交換しながら、DXを推進していくこととなった。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DX推進における、組織全体、ひいては協議会全体としての認識共有・機運醸成	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	自治体DX推進手順書におけるステップ0「DXの認識共有・機運醸成」のため、一般職員へのセミナー	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	システム標準化の推進に向け、スケジュール感の共有や現行業務フローの確認、Fit & Gap分析など、具体的な作業に関する共通理解が形成された。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた 特別職、幹部職員、一般職員と段階を踏んでセミナーを受講したことにより、組織全体としての機運醸成・推進体制整備ができた。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 DX推進手順書に則った研修であり、アンケート等は行っていない。	

5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

